

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~2日	1月 ~9日	1月 ~16日	1月 ~23日	1月 ~30日	2月 ~6日	2月 ~13日	2月 ~20日	2月 ~27日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	9	33	15	11	8	12	4	10	8
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	8	3	2	6	10	14	5	6 (7)	13
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	2	1	1	0	0	1	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	5	15	9	4	2	3	1	4	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	7	2	5	1	4	2	6	1	1
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	0	2	0	0	1	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第8週(2月21日~2月27日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			1		1	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1							1
五類	10	ジアルジア症	1			1				
		百日咳	1				1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		梅毒	7					4		3
新型インフルエンザ 等感染症	5,016	新型コロナウイルス感染症	5,016	605	313	295	75	2,418	477	833

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第8週に2,418件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向が続いていましたが、直近では高止まりとなっています。

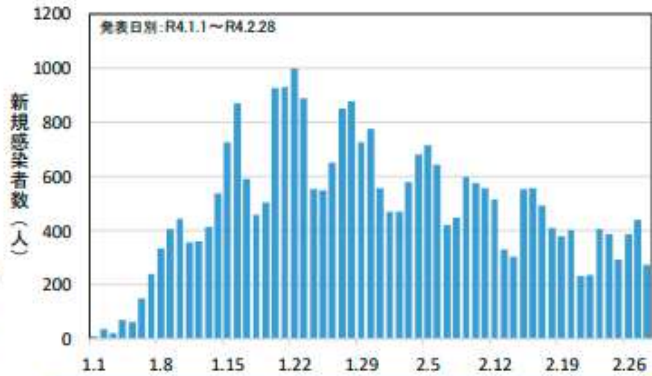
基本的な感染防止対策に加えて、外出・出勤者の削減、県外との往來自粛、体調不良時の早期受診など、対策を徹底しましょう。

2 梅毒

4件の報告がありました。今年の累計は33件(昨年同時期5件)となり、多い状況が続いています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあります。

また、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、死産や早産等が起こることがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



広島県実施のPCR等検査

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
 PCR検査の実施について(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/269/hiroshimapcrrcenter.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	10.38		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.11	
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.30		眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.37	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.21	2.26			急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	78	3.25	5.93	◇	基幹	流行性角結膜炎	1	0.13	0.43	
	水痘	1	0.04	0.30			細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	5	0.21	0.22			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.15			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	2	0.08	0.32			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.49	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	10	90歳代
5	梅毒	4	33	20歳代・2人、40歳代・2人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	60歳代